

# 福祉生活病院常任委員会資料

(令和3年1月21日)

## 【 件 名 】

- 1 県内保育施設における新型コロナウイルスのクラスター発生及び今後の対応  
(子育て王国課) . . . 2
- 2 「鳥取県虐待防止全力宣言企業」、「子ども見守りサポーター」、「ヤングサポーター」の認定制度について  
(家庭支援課) . . . 3

子育て・人財局

## 県内保育施設における新型コロナウイルスのクラスター発生及び今後の対応

令和3年1月21日  
子育て王国課

県内保育施設における新型コロナウイルスのクラスター（感染者集団）発生を受けて、当該施設に対する鳥取県新型コロナウイルス対策専門家チームによる点検調査を行いましたので、その概要と調査を受けての県の対応方針について報告します。

### 1 クラスターの概要

令和2年12月29日（火）、倉吉市立関金保育園において保育士2名の感染が確認され、その後の検査で同園の園児4名についても感染が確認されました。

(1) 施設名 倉吉市立関金保育園（倉吉市関金町関金宿2830-2）

(2) 感染者の発生状況

陽性者6名（保育士2名、園児4名）

(3) 代替保育の状況等

1月12日（火）までの臨時休園期間中は、関金保育園内（消毒作業済み）で一時的に保育ができる体制を整えたが利用者はなし。なお、1月13日（水）から通常通りの保育を再開。

### 2 専門家チームによる点検調査の概要

(1) 調査日時 令和3年1月2日（水）午後1時～3時30分

(2) 調査参加者

鳥取県新型コロナウイルス対策専門家チーム：荒川 満枝 教授（鳥取看護大学）

関金保育園：園長他 職員3名

鳥取県：中部総合事務所福祉保健局、子育て王国課 職員5名

倉吉市：健康福祉部子ども家庭課 職員5名

(3) 点検調査結果の概要

感染予防対策については一部改善の必要があり、現地において、口頭で改善を指示した。

○職員、園児の健康管理を徹底すること

・体調不良の職員は出勤させず、速やかに医療機関を受診させ、医師の判断を仰ぐこと

○アルコール等適切な方法による消毒を徹底すること

○給食の際は十分な距離をあけて座ること

○換気をこまめに行うこと

○職員のマスクの着用を徹底すること

・給食時間や休憩時間においても、会話の際にはマスクを着用すること

### 3 県の対応方針

(1) 上記点検調査時に改善を指示した項目については、倉吉市に対して当日中に指導通知を发出了した。

(2) 各市町村及び県内全ての保育施設に対して、感染防止対策の徹底を再周知した。

(3) 全保育施設を対象とした感染防止対策に係る衛生指導の講習会を実施するとともに、希望施設に対して専門家による現地指導を実施する。

(4) 今回、明らかになった保育活動における感染リスクを受け、保育施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（鳥取県版）の見直しを行う。

令和3年1月21日  
家庭支援課

児童虐待の防止に向けた機運の醸成を図るため、「鳥取県虐待防止全力宣言企業」、「見守りサポーター」、「ヤングサポーター」の認定制度を創設しました。

この度、それぞれの第1号認定を行い、認定証等の授与式を開催しましたので報告します。

記

1 制度

(1) 鳥取県虐待防止全力宣言企業

児童虐待防止に関する社員研修の実施、ポスターの掲示等の啓発活動の実施、児童虐待の防止につながる地域での見守り活動等を行うことを宣言した企業を、「鳥取県虐待防止全力宣言企業」として認定する。

(2) 見守りサポーター

「見守りサポーター認定指定研修」や県政出前講座において、児童虐待防止に関する知識を習得した方に認定バッジを交付し、地域の中で児童虐待の未然防止・早期発見に向けた見守りやアドバイスをを行う。

(3) ヤングサポーター

学校等の授業や講演会等で、児童虐待や体罰によらない子育てについての講義・講話を受講したり、児童虐待防止の啓発活動に積極的に参加した学生・生徒に認定バッジを交付し、友達からの相談に対して対応機関を案内したり、講義で学んだ児童虐待防止の知識を友達などに広げる。

2 第1号認定の認定証授与式

(1) 日時：令和2年12月22日（火）午後1時から1時20分まで

(2) 場所：本庁舎3階 第4応接室

(3) 被認定者

ア 鳥取県虐待防止全力宣言企業

名称	代表者
鳥取県西部解体業協議会	会長 佐田山 有史
鳥取県トライアスロン協会	会長 築谷 敏郎
株式会社 SC 鳥取	代表取締役 塚野 真樹
株式会社ホープタウン	代表取締役 小西 健夫
株式会社中海テレビ放送	代表取締役社長 加藤 典裕



【被認定者の皆様】

イ 見守りサポーター

岩美町民生児童委員協議会の会員 16名

(授与式には、北尾安範会長及び稲葉扶美子児童・青少年福祉部会部長が出席)

ウ ヤングサポーター

県立米子高校3年『コンピュータアート』の授業選択者 21名

3 参考（事業取組の背景）

○日本創生のための将来世代応援知事同盟※共同事業「子どもを虐待から守ろうプロジェクト」

令和元年度の「将来世代応援知事同盟やまぐちサミット」において、児童虐待防止に向けた宣言を行うとともに、3年間を強化期間に位置付け、「虐待防止全力宣言企業」、「見守りサポーター」、「ヤングサポーター」の取組を集中的に推進することになったもの。

※日本創生のための将来世代応援知事同盟

地方創生の流れを受け、将来を担う若い世代が、地方で安心して働き、結婚・出産・子育てをすることができる社会を実現するため、若手知事が知恵を結集して行動していくことを目的に結成した組織。

【加盟県】岩手県、宮城県、福島県、茨城県、福井県、山梨県、長野県、三重県、滋賀県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、高知県、宮崎県（以上、17県）